

平成23年7月

新潟・福島豪雨1周年シンポジウム

開催日時：平成24年8月20日(月)14:00~17:00

開催場所：新潟ユニゾンプラザ

プログラム

13:30 開場

14:00 開会

14:10 基調講演

「近年多発する豪雨災害の特徴と教訓」

丸井 英明 (新潟大学 災害・復興科学研究所長)

講演の概要：

近年、世界各国で異常気象に起因すると考えられる豪雨災害が頻発しているが、各国共に厳しい財政状況を背景に、防災事業といえども公共投資がままならない状況にある。そのような状況下で、深刻な被害を軽減するためには、何が必要であろうか。

平成23年にはタイ、平成24年には中国で大規模洪水が発生し、日本企業の現地生産拠点が浸水被害を受けるなど、甚大な影響を受けた。グローバル化している現況下では、海外諸国での洪水災害はもはや対岸の火事ではない。相応のリスク管理を必要とする。

ヨーロッパ大陸においても1990年代以降、大規模な洪水災害が頻発していることが注目される。

近年世界各地で多発する豪雨災害の特徴と教訓について述べる。

休憩

15:05 パネルディスカッション

「頻発する集中豪雨や地球温暖化の対応と今後の課題」

●コーディネーター

鈴木 聖二 (新潟日報社編集委員室長)

●パネリスト

篠田 昭 (新潟市長)

國定 勇人 (三条市長)

久住 時男 (見附市長)

大竹 啓五 (越後長野温泉 嵐溪荘 代表取締役)

丸井 英明 (新潟大学 災害・復興科学研究所長)

田村 圭子 (新潟大学 危機管理本部 危機管理室 教授)

田宮 強志 (新潟県土木部長)

中平 善伸 (国土交通省 北陸地方整備局 河川部 河川調査官)

16:45 質疑応答

16:55 閉会



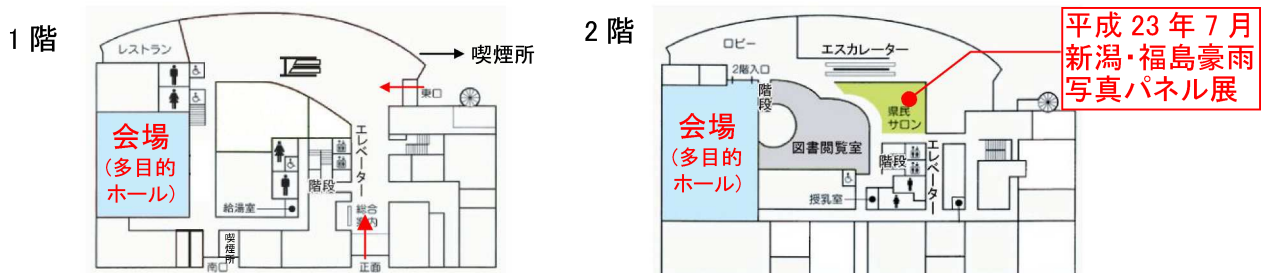
主催／国土交通省北陸地方整備局信濃川下流河川事務所

後援／新潟日报社、新潟県、信濃川下流各市町(新潟市、三条市、加茂市、燕市、田上町、長岡市、見附市)、新潟大学 災害・復興科学研究所

出演者紹介

<p>基調講演/パネリスト</p> <p>まるい ひであき 丸井 英明 氏 新潟大学 災害・復興科学研究所長</p>	<p>昭和 24 年生まれ、兵庫県神戸市出身。昭和 58 年～平成元年オーストリア・ウィーン農科大学砂防及び雪崩防止研究所客員研究員として留学、ヨーロッパ各国の砂防・雪崩防災の問題を研究。平成元年新潟大学大学院自然科学研究科助手、平成 2 年新潟大学積雪地域災害研究センター助教を経て平成 23 年から新潟大学災害・復興科学研究所所長。農学博士、自然工学博士。国際防災学会インタープリメント副会長（オーストリア）、元（社）日本地すべり学会会長。国内外の地すべり調査研究を続けている。近年では特にパキスタン、中国等の地震による地すべりの調査やクロアチアとの防災の共同研究に取り組んでいる。</p>
<p>コーディネーター</p> <p>すずき せいじ 鈴木 聖二 氏 新潟日報社編集委員室長</p>	<p>石川県金沢市出身。昭和 51 年新潟日報社入社。本社報道部の経済、県政、新潟市政、長岡、東京支社などで取材記者。報道部デスク、情報文化部長、編集委員等を経て平成 22 年より現職。</p>
<p>パネリスト</p> <p>しのだ あきら 篠田 昭 氏 新潟市長</p>	<p>昭和 23 年生まれ、新潟県新潟市出身。上智大学外国語学部卒業。新潟日報社編集局学芸部長兼編集委員、長岡支社報道部長兼編集委員、論説委員兼編集委員などを経て、平成 14 年に新潟市長選に立候補し初当選。現在 3 期目。</p>
<p>パネリスト</p> <p>くにさだ いさと 國定 勇人 氏 三条市長</p>	<p>昭和 47 年生まれ、東京都千代田区出身。平成 9 年郵政省入省。大臣官房総務課審議室、放送行政局放送政策課、総務省情報通信政策局放送政策課政策係長、大臣官房総務課総括国会第三係長、平成 15 年より三条市総務部参事兼情報政策課長、三条市市長公室長兼総務部参事、三条市総合政策部長、総務省情報通信政策局地域通信振興課課長補佐などを歴任。平成 18 年に三条市長就任。現在 2 期目。</p>
<p>パネリスト</p> <p>くすみ ときお 久住 時男 氏 見附市長</p>	<p>昭和 24 年生まれ、新潟県見附市出身。平成 14 年に見附市長就任。平成 16 年 7 月に新潟・福島豪雨災害、同年 10 月新潟県中越大地震災、続けて 2 度の激甚災害を経験。経験を通じて得た災害の知識や課題を、被災地の責任として全国へ発信するため、水害サミット、国土交通大学校の危機管理講師、防災・減災フォーラムのパネリスト、また、国連WMOの国際会議にて災害時の指導者の役割など講演を行い、防災行政の推進に取り組んでいる。</p>
<p>パネリスト</p> <p>おおたけ けいご 大竹 啓五 氏 越後長野温泉 嵐溪荘 代表取締役</p>	<p>昭和 46 年生まれ、新潟県三条市出身。日本リロケーション開発建設事業部（現：リロ・ホールディング）を経て、平成 10 年より実家の嵐溪荘へ入社、平成 19 年に嵐溪荘の代表取締役就任。</p>
<p>パネリスト</p> <p>たむら けいこ 田村 圭子 氏 新潟大学 危機管理本部 危機管理室 教授</p>	<p>京都大学大学院情報学研究科博士後期課程終了。博士(情報学)。平成 18 年より新潟大学災害復興科学センター・特任准教授、現在同大学 危機管理室・教授。専門は危機管理、災害福祉。中央防災会議委員、防災対策推進検討会議委員、消防審議会委員、大規模災害時における消防団活動のあり方等に関する検討会委員、新潟県「津波対策検討委員会」委員、岩手県「広域防災拠点整備構想委員会」委員を務める。</p>
<p>パネリスト</p> <p>たみや つよし 田宮 強志 氏 新潟県土木部長</p>	<p>昭和 28 年生まれ、新潟県新潟市出身。昭和 52 年新潟県入庁。平成 21 年長岡地域振興局地域整備部長、平成 23 年より現職。</p>
<p>パネリスト</p> <p>なかひら よしのぶ 中平 善伸 氏 国土交通省 北陸地方整備局 河川部 河川調査官</p>	<p>昭和 42 年生まれ、兵庫県西宮市出身。平成 4 年建設省入省。現在、北陸地方整備局の河川行政のとりまとめを担当。昨年の新潟・福島豪雨では災害対策本部に詰め災害情報の集約、広報を担当した。</p>

会場案内図



お問い合わせ先 **国土交通省 北陸地方整備局 信濃川下流河川事務所 管理課**
 TEL : 025-266-7326 / ホームページ : <http://www.hrr.mlit.go.jp/shinage/>